

## 9. 特別支援教育について

- ・児童が安心して学校生活を送れるよう、学校全体でサポートをしていきます。
- ・不安なことがあれば、担任・学年・管理職へ、遠慮なく御相談ください。

学習面

集団生活

対人関係・コミュニケーション等



- ・校内では、担任だけでなく学年・養護教諭・専科・管理職・特別支援教育コーディネーター・スクールカウンセラー等が組織的に対応していきます。

### みどり学級（特別支援学級）について

通常の学級での集団一斉学習に参加するのが難しく、特別な支援を必要とする児童生徒に対して、特性や状態に応じた学習や指導を行います。少人数による学級で、学校生活を送ります。

- ・1組：知的障がい学級 知的発達の遅れがあり、通常の学級での集団一斉学習や集団生活に参加することが難しく、支援が必要な児童が所属しています。

指導内容は、各教科では一人一人の課題や発達段階に応じて特別支援学校や下学年の教育内容を取り入れるなど、個別指導計画をもとに目標を設定して授業を行います。

また、各教科等を合わせた指導として「日常生活の指導」「生活単元学習」を行います。

- ・2組：自閉症・情緒障がい学級 知的発達の遅れがなく、医療機関等で自閉症や情緒障がい等の診断がある。または傾向がみられる児童が所属しています。

指導内容は、各教科では通常の学級に準じた内容を学習します。また、情緒障がい等による学習や生活上の苦手なことの改善・克服を目指す「自立活動」も併せて行います。

- ・どちらの学級も学校・学年の行事、授業等で通常の学級と交流をしています。

### サポートルーム（特別支援教室）について

- ・サポートルームとは、町田市立小学校の通常の学級に在籍し、学習内容はおおむね理解できるものの、発達のアンバランスやコミュニケーションの問題から集団での学習や活動につまずいてしまう児童に対して、良さを伸ばし、困難を軽減したり、苦手さを克服したりして、いきいきと学校生活に適應できるように支援する教室のことです。
- ・お子さんの実態に応じ、必要な時間数、サポートルーム（特別支援教室）で個別～少人数で学習をします。





# サポートルームについて(保存版)

※退級するまでいつでも見られる状態にして、ご家庭で保管してください。

サポートルームとは、通常学級での学習におおむね参加できるものの、一部特別な指導を必要とする児童に対し、状態に応じて、一人一人が抱える困り感などを効果的に改善する学びの場です。

在籍学級での学習や生活に円滑に参加できるように、コミュニケーションの力や社会性を育てる指導を行います。

## <指導の対象となる児童(例)>

<p>コミュニケーション 場面での困り感</p>  <ul style="list-style-type: none"><li>• 思ったことをそのまま口に出す。</li><li>• 人の気持ちが分からず、反応を気にしない。</li><li>• 言いたいことが言えない。</li></ul>	<p>授業中での困り感</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 周囲の刺激に反応して、立ち歩く。</li><li>• 順番を待てない。</li><li>• 指示を聞き逃して、活動に遅れる。</li></ul> 	<p>運動での困り感</p>  <ul style="list-style-type: none"><li>• 運動が苦手で、体の動きがぎこちなく、ボールなどの扱いがうまくいかない。ドッジボールや大なわなどの集団遊びやゲームに入れない。</li></ul>	<p>学習場面での困り感</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 全般的な知的発達に遅れはないが、音読、漢字の読み書き、計算などに特有の学びにくさがある。</li><li>• 得意・不得意の差が非常に大きい。</li></ul> 
--	---	--	---

## <指導時数>

指導時間は、週当たり2単位時間を原則としています。指導時間が専科の授業と重ならないように、時間割を各校で調整しています。児童の適応状況に応じて、個別指導のみや小集団指導のみで、週当たり1単位時間の指導の場合もあります。

## <指導内容>

基本は、①小集団指導と②個別指導を組み合わせで行います。

### ① 小集団指導

人と関わるときに必要なソーシャルスキルトレーニング(SST)を行います。スモールステップで取り組むことで成功体験を積み重ね、自己肯定感を高めながら、学級集団の中でも実践できるようになることを目指しています。

### ② 個別指導

一人一人の特性に応じた課題に取り組めます。文章の読み取り、数や図形の操作、事柄の比較・関連付け・推理分類、記憶などに関わる力を育てます。また必要に応じて、手指の巧緻性やボディイメージ、柔軟性、平衡性、筋力、瞬発力などを身に付けるために、作業や運動などの課題にも取り組めます。

さらに、児童の発達特性に応じて、各教科の内容を取り扱いながら指導することがあります。これは「学習の遅れを取り戻すための補習」ではなく、各自に有効な学習方法や学習スタイルを見付けるための指導です。

### ③ 適応指導

サポートルームの教員が在籍学級での児童の様子を見て、学級での適応を図るための指導です。